

重点施策		文化・芸術活動の創造・育成支援			評価実施者		所 属	社会教育課
					職・氏名		課長 景由隆寛	

重点施策の概要	目 的	市民による優れた芸術鑑賞事業や個性的な文化創造事業のほか、これらをけん引する人材育成事業を支援し、地域の文化力を原動力としたまちづくりを目指します。						
	今年度の主要事業	①地域文化活動を支える市民との協働による鑑賞事業などの実施 ②学校を舞台とした芸術鑑賞や体験などのアウトリーチ事業の拡充						

事業の目標と実績	区 分		単位	H24	H25	H26	特記事項
	1	文化センターを会場とした座席数に対する鑑賞事業観客数の割合	目標	75.0	75.0	75.0	H24 ヘルパーズ530人、熱帯JAZZ楽団750人、海流座405人
			実績	56.2	38.2	77.4	H25 兄帰る 375人 H26 航空自衛隊中央音楽隊 1,100人 民謡魂 ふるさとの唄 738人 白石加代子「百物語」 302人 淑女のロマンス 955人
	2	芸術家が訪問した延学校数	目標	11	11	10	H26 ひのき屋(一小)、コンテンポラリーダンス(一小)
実績			5	3	3	航空自衛隊航空中央音楽隊(江陵中)	
3		目標					
		実績					

事業の分析効果の検証	①鑑賞事業については、滝川音楽協会等文化団体と連携し「航空自衛隊中央音楽隊」「淑女のロマンス」などの事業を支援したほか、NHKに要望し実施の運びとなった公開番組「民謡魂ふるさとの唄」も開催され、文化センターの集客数も延びた。 ②NPO法人空知文化工房が主催した「公共ホール現代ダンス活性化事業」の一環として実施したコンテンポラリーダンスは第一小でアウトリーチ事業を行った。全身を使って表現するコンテンポラリーダンスは児童たちにとって初めての経験であったがダンスの楽しさを体験できた機会となった。
課題	①鑑賞事業においては通常、実行委員会等により運営がなされているが委員の構成がどうしても固定化してしまう傾向にあることから、人的な広がりが限られてしまう。 ②できるだけ多くの学校の児童生徒にプロのアーティストによるアウトリーチ事業を体験してもらいたい、事業受け入れに対する学校の姿勢に差がある。

評価	B 評価の視点1 期待どおりの効果があったか 音楽、NHKの公開番組、ひとり芝居、昨今の人気女優らによる演劇等、多岐に渡る分野の鑑賞事業を市民のみなさんに楽しんでいただき、公演目的は概ね達成することができた。コンテンポラリーダンスのアウトリーチ事業は初めての試みであったが、児童も講師も満足度が高く効果があった。 評価の視点2 施策の目的を達成するため、事業見直し等の必要があるか 優れた鑑賞事業の安定した開催に向けた工夫をする。 プロのアーティストによる学校訪問は継続して実施し、多くの学校が体験できるよう働きかける。
----	--

【評価の区分】

A: 期待どおりの成果が得られ、今後も事業を継続する

B: ほぼ期待どおりの成果が得られたが、さらなる発展のため事業を見直す余地がある

C: 概ね期待した成果は得られたが、事業の見直しが必要である。

D: 期待する成果が得られず、廃止も含めた見直しが必要

事業の今後の方向性	地方都市でも質の高い文化・芸術活動に触れられる機会の提供を継続していく。 ☐ 拡充 ☐ 縮小・統廃合 ☐ 質的向上 ☐ スピートアップ ☐ 検証 ☒ 継続
-----------	---

◎外部評価委員の評価・意見等

点検・評価に関するコメント	幅広い市民への機会も提供してもらえればと思う。
---------------	-------------------------